

# 静岡県東部地域企業経営動向調査(速報)

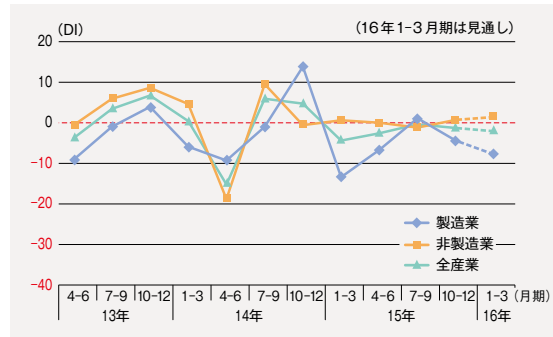
(2015年10-12月期実績、2016年1-3月期見通し)

## 1 業況概要(自社)

### 製造業ではDI低下、非製造業では上昇

静岡県東部地域における2015年10-12月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で-1.3(前期-0.4)と若干の低下に転じた。製造業ではパルプ・紙・紙加工品で上昇したが、食品品、金属製品、一般機械器具でDIが低下し、全体で-4.4(前期1.1)と再びマイナス水準となった。一方、非製造業では卸・小売・サービス業、建設業とも上向きで推移し、全体で0.7(前期-1.2)とプラス水準を回復している。

2016年1-3月期の予想DI(今期比)は、全産業で-2.1となっているが、業種別では製造業-7.8、非製造業1.4と製造業の見通しの厳しさが目立つ。



### 業種別天気図



(2015年7-9月期と10-12月期は前期比、2016年1-3月期は今期比見通し)

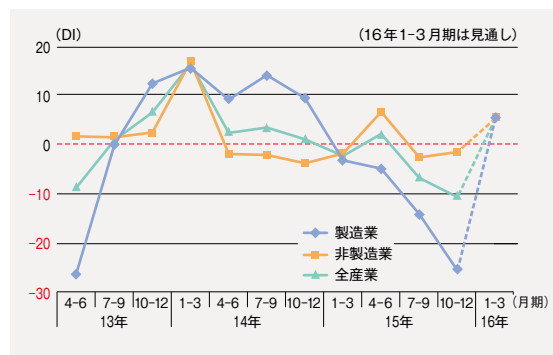
	製造業	食品品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2015年7-9月期	☁	☀	☁	☀	☁	☁	☀	☁
2015年10-12月期	☁	☁	☁	☀	☁	☁	☀	☁
2016年1-3月期	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☀	☁

## 2 売上動向

### 製造業はDIの低下が続く、非製造業は上昇に転じる

2015年10-12月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は-10.6(前期-6.7)と2期連続の低下となった。製造業では、食品品でDIが前期比上昇したが、パルプ・紙・紙加工品、金属製品、一般機械器具で大幅に悪化したため、全体でも-25.6(前期-14.1)と5期連続の低下となった。一方、非製造業では建設業でDIが低下したが、旅館・その他宿泊所で大幅に改善、その他も上昇したことから、全体では-1.4(前期-2.5)と上昇に転じている。

2016年1-3月期の予想DI(今期比)は、全産業で5.5と今期比上昇を見込んでいる。業種別でも製造業5.6、非製造業5.5とほぼ同水準である。

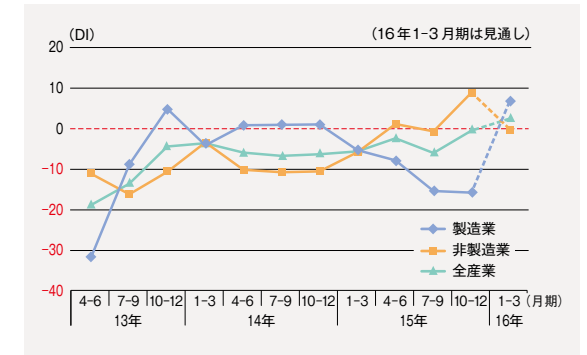


## 3 利益動向

### 製造業はほぼ横ばい、非製造業は卸・小売・サービス中心に上昇

2015年10-12月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-0.4(前期-5.9)と前期比上昇に転じた。製造業では、食品品とパルプ・紙・紙加工品では大幅に改善したが、一般機械器具で悪化するなど業種間の差異が大きく、全体では-15.6(前期-15.2)とほぼ横ばいで推移している。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所を含む卸・小売・サービス業全般での回復が大きく、全体でも8.9(前期-0.6)と上昇している。

2016年1-3月期(見通し)の予想DI(今期比)は、全産業で2.5、業種別では製造業6.7、非製造業は0.0で、製造業に回復への期待感がみられる。



## 4 経営上の問題点

### 従業員関連の項目が上位に定着傾向

「人材の育成」と「従業員の高齢化」の回答比率がともに前期比上昇しており、「求人難」「人件費の増加」を含め従業員関連の項目が回答の上位に定

着しつつある。その他では「受注・売上の停滞・減少」「過当競争・製品安」は概ね横ばいだが、「原材料・仕入商品の値上がり」は低下が続いている。

(単位:社、%)

	15年4-6月期		15年7-9月期		15年10-12月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	132	49.6	134	52.8	122	51.5	→
2. 人材の育成	97	36.5	79	31.1	91	38.4	↑
3. 従業員の高齢化	71	26.7	84	33.1	86	36.3	↓
4. 過当競争・製品安	82	30.8	77	30.3	71	30.0	→
5. 求人難	54	20.3	65	25.6	59	24.9	↑
6. 原材料・仕入商品の値上がり	82	30.8	69	27.2	55	23.2	↓
7. 人件費の増加	61	22.9	47	18.5	54	22.8	↑
8. 生産・販売能力の不足	54	20.3	49	19.3	48	20.3	↓

#### 調査の概要

1. 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業499社 回答数237(回答率47.5%)
3. 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 実績:2015年10-12月期 見通し:2016年1-3月期
5. 調査時点 2015年11-12月
6. その他 本調査は、12月4日時点の集計による速報値に基づいて分析しています

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

※この他、今回は「2016年業況の見通し」等についても調査しています。調査結果は弊所ウェブサイト(<http://www.srgi.or.jp>)をご覧ください。